

専門分野 地域・在宅看護論 授業計画

授業科目及び時間数	チーム医療論 1単位 15時間		
開講時期	3年次 前期		
担当教員	大畑浩美	実務経験	有
<p>&lt;科目のねらい&gt;                  対象の健康、生活を守る保健医療福祉の提供に向けて、お互いの職の専門性を活かしながら、対象の目標達成にむけて、多職種が連携し、目標の実現を目指す力を身につける</p> <p>&lt;到達目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多職種の役割と責務について多職種と共有する。</li> <li>2. 対象者中心の倫理観をもつ。</li> <li>3. 対象の目標を共有するため、多職種間のコミュニケーション能力を身につける</li> <li>4. 対象者の目標達成のために、多職種と共に考えることができる。</li> <li>5. 多職種連携・協働にむけ今後の展望を語れる。</li> </ol>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 他職種の役割・機能の理解	講義	
2回目	1. 看護師の役割機能と連携を考える。	講義・グループワーク	
3回目	1. 他職種の専門職者から活動及び協働の実際を学ぶ ・薬剤師・診療放射線技師・管理栄養士 ・介護福祉士 作業療法士	講義・グループワーク	
4回目	1. 他職種の専門職者から活動及び協働の実際を学ぶ ・薬剤師・診療放射線技師・管理栄養士 ・介護福祉士 作業療法士	講義・グループワーク	
5回目	1. 他職種の専門職者から活動及び協働の実際を学ぶ ・薬剤師・診療放射線技師・管理栄養士 ・介護福祉士 作業療法士	講義・グループワーク	
6回目	1. 専門連携学習 準備、実際	講義・グループワーク	
7回目	1. 専門連携学習 実際、成果まとめ 2. 看護師の役割の考察	講義・グループワーク	
8回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 100%		
受講生に対するメッセージ	授業は個人ワーク、グループワーク、演習を含めて行う。積極的に取り組んでほしい。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 在宅看護論 医学書院		
参考書			